

平成 24 年度（上半期）河川レンジャー活動経過報告

平成 24 年 10 月

高槻管内河川レンジャー

中島 敏明 (1 期生)
吉川 正之 (3 期生)
酒井 信行 (4 期生)
中川 ゆり子 (5 期生)
杉本 真一 (7 期生)

山崎(大阪府域)管内河川レンジャー

谷岡 寿和子 (3 期生)

目 次

○中島河川レンジャー（上半期）活動報告

- 1. 平成 24 年度 活動のテーマと目的 1
- 2. 河川レンジャー出前講座(上半期 11 回) ・平成 24 年 4 月～9 月..... 2

○吉川河川レンジャー（上半期）活動報告

- 3. 平成 24 年度 活動のテーマと目的 4
- 4. 水辺ウォーク 5
 - ・平成 24 年 4 月 22 日(日) 5
- 5. 稲作体験学習 7
 - ・平成 24 年 6 月 13 日(水) 7
- 6. 水辺ウォーク 9
 - ・平成 24 年 6 月 24 日(日) 9
- 7. 稲作体験学習 11
 - ・平成 24 年 8 月 20 日(月) 11
- 8. 土のう積み体験 13
 - ・平成 24 年 8 月 25 日(土) 13

○酒井河川レンジャー（上半期）活動報告

- 9. 平成 24 年度 活動のテーマと目的 15
- 10. 自然再生への住民参加の仕掛けづくり 16
 - ・平成 24 年 3 月 3 日(土) 16
- 11. 適正な利用の推進を図る活動 18
 - ・平成 24 年 2 月～平成 24 年 9 月.. 18
- 12. 自然再生への住民参加の仕掛けづくり 21
 - ・平成 24 年 6 月 24 日(日) 21

○中川河川レンジャー（上半期）活動報告

- 13. 平成 24 年度 活動のテーマと目的 24
- 14. 高齢者、身障者、幼児を河川に誘導 25
 - ・平成 24 年 4 月 20 日(金) 25
- 15. 住民と共に水防を考える 29
 - ・平成 24 年 6 月 8 日(金) 29
- 16. 住民と共に水防を考える 31
 - ・平成 24 年 8 月 3 日(金) 31

○杉本河川レンジャー（上半期）活動報告

- 17. 平成 24 年度 活動のテーマと目的 34
- 18. 高槻ジュニア河川レンジャー 35
 - ・平成 24 年 5 月 12 日(土) 35
- 19. 高槻ジュニア河川レンジャー 37
 - ・平成 24 年 6 月 2 日(土) 37
- 20. 高槻ジュニア河川レンジャー 39
 - ・平成 24 年 6 月 24 日(日) 39
- 21. 高槻ジュニア河川レンジャー 41
 - ・平成 24 年 8 月 25 日(土) 41

○谷岡河川レンジャー（上半期）活動報告

- 22. 平成 24 年度 活動のテーマと目的 43
- 23. 鶺殿のヨシ原で調査、観察会 44
 - ・平成 24 年 4 月 15 日(日) 44
- 24. 鶺殿のヨシ原で調査、観察会 46
 - ・平成 24 年 5 月 24 日(木) 46
- 25. 鶺殿のヨシ原で調査、観察会 48
 - ・平成 24 年 9 月 29 日(土) 48

○中島河川レンジャー（上半期）活動報告

1. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

1.1 活動テーマと活動分野

高槻出張所管内を活動エリアとする中島河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、4つの活動を実施します。

活動テーマ

1. 芥川を中心とする臨場型体験学習で、子供達に、河川への係わり方や河川環境の現実の姿を調べ、河川空間の多様性を体現してもらう。
2. 芥川の将来の望ましい姿を参加者と共に具体的に探していく。

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川への係わり方を事前に知る活動	「高槻ジュニア河川レンジャー養成講座」の実施	芥川の多様な河川環境に触れながら、子供達が季節を通じた体験学習で、河を知り、環境の保全等を考える「高槻ジュニア河川レンジャー」を育てる。
	「芥川・淀川連続講座8」の実施	過去、7回にわたって芥川・淀川連続講座を実施してきた。今年度は、ワークショップ形式で今後の河川との関わり方について掘り下げて率直な議論を行なう。
自ら河川環境の実態を調べ将来の望ましい姿を提言する活動	遡上アユを見つけよう	遡上アユや下流部の魚たちを調べ、芥川と淀川との連続性や、今後の河川環境を考える上での契機と位置付ける。
	津之江公園の将来像を考える生き物調査	津之江公園は、芥川下流部の市街地に位置し、高槻市民だけでなく広域の自然公園と位置付けられている。周辺地域の子供達や市民とともに地引網等を用いた水性生物調査を行い、今後の公園の望ましい姿を考える。

2. 河川レンジャー出前講座(上半期 11 回)

・平成 24 年 4 月～9 月

2.1 実施状況

活動名	河川レンジャー出前講座(上半期 11 回)		
担当	高槻出張所管内	中島河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 5 月 28 日(火)9:30～11:30 平成 24 年 6 月 1 日(金)9:30～11:30 平成 24 年 6 月 26 日(火)10:00～12:00 平成 24 年 6 月 27 日(水)9:30～11:30 平成 24 年 7 月 4 日(水) 9:30～11:00 平成 24 年 7 月 11 日(水)9:40～11:00 平成 24 年 7 月 17 日(火)11:00～12:30 平成 24 年 7 月 24 日(火)15:00～16:30 平成 24 年 7 月 26 日(月)11:00～12:30 平成 24 年 9 月 3 日(月) 13:20～14:30 平成 24 年 9 月 5 日(水) 10:00～11:30		
参加人数	参加総数	平成 24 年 5 月 28 日(火)145 名：土室小学校 4 年 平成 24 年 6 月 1 日(金) 77 名：津の江小学校 4 年 平成 24 年 6 月 26 日(火) 75 名：南平台小学校 3 年 平成 24 年 6 月 27 日(水) 82 名：南平台小学校 3 年 平成 24 年 7 月 4 日(水) 43 名：三箇牧小学校 5 年 平成 24 年 7 月 11 日(水) 56 名：茨木市立西河原小学校 4 年 平成 24 年 7 月 17 日(火) 52 名：同上 平成 24 年 7 月 24 日(火) 17 名：安威川生きもの観察会 平成 24 年 7 月 26 日(月) 38 名：安威川クリーンキャンペーン 平成 24 年 9 月 3 日(月) 25 名：樫田小学校 3・4 年 平成 24 年 9 月 5 日(水) 21 名：同上	631 名
	学校参加者	平成 24 年 5 月 28 日(火)131 名(教師 4 名) 平成 24 年 6 月 1 日(金) 71 名(教師 4 名) 平成 24 年 6 月 26 日(火) 71 名(教師 4 名) 平成 24 年 6 月 27 日(水) 71 名(教師 4 名) 平成 24 年 7 月 4 日(水) 31 名(教師 3 名) 平成 24 年 7 月 11 日(水) 48 名(教師 3 名) 平成 24 年 7 月 17 日(火) 48 名(教師 3 名) 平成 24 年 7 月 24 日(火) 10 名(保護者 5 名) 平成 24 年 7 月 26 日(月) 25 名 平成 24 年 9 月 3 日(月) 20 名(教師 5 名) 平成 24 年 9 月 5 日(水) 18 名(教師 3 名)	544 名
	協力スタッフ	平成 24 年 5 月 28 日(火) 13 名：茨木土木 13 名 平成 24 年 6 月 1 日(金) 5 名： 高槻市環境保全課 2 名、スタッフ 3 名 平成 24 年 6 月 26 日(火) 3 名：茨木土木 3 名 平成 24 年 6 月 27 日(水) 10 名：茨木土木 10 名 平成 24 年 7 月 4 日(水) 11 名： 神安土地改良区 7 名、大阪府 1 名、スタッフ 3 名 平成 24 年 7 月 11 日(水) 7 名：茨木土木 7 名 平成 24 年 7 月 17 日(火) 3 名：茨木土木 3 名 平成 24 年 7 月 24 日(火) 6 名：安威川ダム建設事務所 6 名 平成 24 年 7 月 26 日(月) 12 名： 茨木市、茨木土木事務所 10 名、スタッフ 2 名 平成 24 年 9 月 3 日(月) 4 名： 高槻市環境保全課 2 名、茨木土木 2 名 平成 24 年 9 月 5 日(水) 2 名：高槻市環境保全課 2 名	76 名

スケジュール		
実施場所		

2.1 事前活動

関係機関からの 支援内容	
レンジャーの活動内容	

2.2 意見・課題

参加者からの意見	
今後の課題	

○吉川河川レンジャー（上半期）活動報告

3. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

3.1 活動テーマと活動分野

高槻出張所管内を活動エリアとする吉川河川レンジャーは以下の活動テーマのもと 3 つの活動を実施します。

活動テーマ

川の大切さを知り、淀川を大事にしよう！

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川啓発活動	稲作体験学習	稲作を体験することにより、水の大切さを実感し、川を大事にして、ゴミの不法投棄はしないことは勿論、クリーン活動をするなど川に愛情を持って貰うことの効果が期待できる。 子供時代の体験は大人になっても心に残ると思われる。
	水辺ウォーク	水辺のウォーキングにより、水についての関心を深めてもらう。 歴史文化を知ってもらうことにより川を大切にすることを意識を高める。
防災活動	土のう積み体験	水防の重要性を認識してもらう。

4. 水辺ウォーク

・平成 24 年 4 月 22 日(日)

4.1 実施状況

活動名	水辺ウォーク		
担当	高槻・山崎出張所管内	吉川河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 4 月 22 日(日) 9:00～:12:00		
参加人数	参加総数	20 名	
	一般参加者	17 名	大人 17 名
	講師	1 名	高田禎三氏 (郷土歴史家)
	協力スタッフ	1 名	中川河川レンジャー
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:00	開始・三箇牧公民館会場で受付	
	9:30	吉川レンジャー活動の主旨説明	
	10:45	高田禎三氏による「淀川と三箇牧」についての講義	
	11:20	三島鴨神社の見学および旧三島江浜の現地での見学	
	12:00	終了・現地解散	
実施場所	場所：高槻市三箇牧公民館および見学地		
			

4.2 事前活動

各種資料	郷土歴史家高田禎二氏作成による三島鴨神社関係解説テキスト
関係機関からの支援内容	特になし
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 高田禎三氏による「淀川と三箇牧」についてのお話 テーマ 1：三島鴨神社の歴史的背景について テーマ 2：三島江浜の成り立ち テーマ 3：玉江・三島江の和歌に用いられている枕詞のお話 テーマ 4：荘川桜の謂れについて 昨年度の吉川レンジャー活動の稲作体験（柱本小学生児童対象）による収穫米を用いたお餅ができた経緯を説明。

4.3 活動状況



講師による「淀川と三箇牧」の講義



講義状況



淀川堤防にて講師による当時の三島江浜の説明



展示資料「三島江・玉川湖の古図」

4.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・高槻に古い歴史・文化のあるところがあったのだと思った。 ・川のある風景がすばらしかった。 ・長年すんでいるが、地域の歴史を知らなかった。
今後の課題	<p>参加者が高齢であるのでウォークの距離が制限される。 地元の参加者と成人の参加者が少ないのでその対策が必要。</p>

5. 稲作体験学習

・平成24年6月13日(水)

5.1 実施状況

活動名	稲作体験学習（学習田の田植え）		
担当	高槻出張所管内	吉川河川レンジャー	
開催日時	平成24年6月13日(水) 9:00～10:10		
参加人数	参加総数	65名	
	学校参加者	56名	柱本小学校校長・教師4名、5年生52名
	講師	1名	高碕康司氏
	協力スタッフ	2名	地元協力者：野口氏
	高槻市	4名	神安土地改良区：田中氏
	淀川河川事務所	1名	高槻市教育委員会1名、農林課3名
	運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	開始	
	9:05	5年生児童の到着、レンジャー、講師、スタッフから諸注意	
	9:30	田植えの開始	
	9:35	レンジャーによる指導	
	9:45	田植え作業	
	9:55	泥落としの洗水	
	10:05	レンジャー設置の水槽観察と資料の配布	
	10:10	終了	
実施場所	高槻市柱本高碕氏提供の学習田		
	 <p>活動場所：高槻市柱本 4丁目20番地付近 (個人農地)</p>		

5.2 事前活動

各種資料	淀川の魚類(下敷き)の配布
関係機関からの支援内容	高槻市教育委員会から学習田としての支援
レンジャーの活動内容	高槻市、柱本小学校、実行組合、学習田提供者、地元支援者との協議および支援打ち合わせ

5.3 活動状況



講師、スタッフ紹介と活動時の諸注意



田植えの開始



レンジャーによる田植え指導



田植えのようす

5.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・いまから感謝祭が待ち遠しい。 ・水が淀川から来ていることを始めて知った。 ・魚がいることがわかった。 ・まっすぐに植えるのはむずかしい。
今後の課題	<p>父兄の参加も得られれば、サポートのスタッフとして実働していただき、「親子参加」によるより充実した取り組みになっていくと思う。 次回は父親参観等に関連させた日程での開催に調整していきたい。</p>

6. 水辺ウォーク

・平成 24 年 6 月 24 日(日)

6.1 実施状況

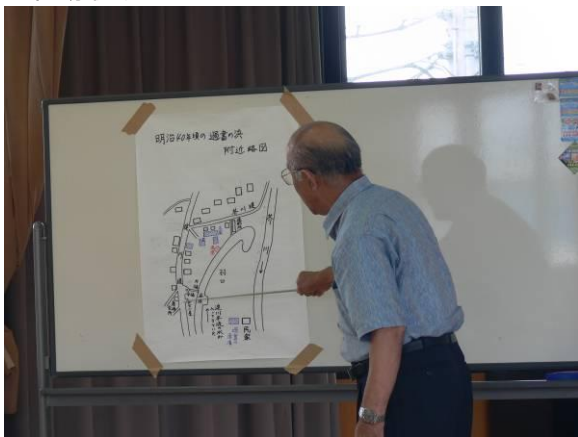
活動名	水辺ウォーク（歴史と自然のまち唐崎を訪ねて）		
担当	高槻出張所管内	吉川河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 6 月 24 日(日) 12:30~16:30		
参加人数	参加総数	51 名	
	一般参加者	46 名	大人 46 名
	講師	2 名	西坂弘氏(郷土歴史家) 西本幸嗣氏(しろあと歴史館学芸員)
	協力スタッフ 運営事務局	2 名 1 名	高槻郷土伝承民謡保存育成会
スケジュール	12:30 開始・高槻市唐崎公民館にて準備・受付 13:10 西坂講師の講義 14:00 高槻郷土伝承民謡育成保存会による民謡披露 14:15 西本講師の講義 15:50 吉川氏による番田大樋のスケッチ紹介 15:05 現地見学ウォーキング 16:30 終了・現地解散		
実施場所	(場所) 高槻市唐崎地先 		

6.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・いにしへの反映を偲んで（小冊子） ・番田大樋スケッチハガキ ・淀川を行き交う船と唐崎周辺
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高槻市 唐崎公民館借用

レンジャーの活動内容	<p>(事前調整)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師依頼 ・会場借用依頼 <p>(当日運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西坂弘氏（郷土歴史家）による「唐崎」の成り立ち、治水史の講義。 ・高槻郷土伝承民謡育成保存会による民謡披露。 [楽曲] 家あけ音頭・千本突き歌・杭打ち歌・新旧三十石舟音頭 ・西本幸嗣氏（しろあと歴史館学芸員）による「くらわんか船」発祥の講義 他。 ・画家吉川氏による番田大樋のスケッチ紹介。 ・現地見学会（ウォーキングコース）。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 過書浜跡の見学 2) 樋門・札場跡見学 3) 松村邸段蔵見学 4) 番田大樋の見学 <p>現地解散。</p>
------------	--

6.3 活動状況



講師による唐崎の歴史・治水史の講義



高槻市郷土伝統民謡保存会による民謡披露



淀川現堤防上より過書浜についての説明



13代目の過書船の船主寺本家当主による説明

6.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・唐崎の昔を知らなかった。 ・昔の人は淀川から水を引くのに、苦労したんだなあと感じた。 ・寺本家(見学先)に感謝します。
今後の課題	自身ももっと淀川の歴史と今を勉強する必要を感じた。

7. 稲作体験学習

・平成 24 年 8 月 20 日(月)

7.1 実施状況

活動名	稲作体験学習（稲の開花と受粉）		
担当	高槻出張所管内	吉川河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 8 月 20 日(月) 9:55~10:40		
参加人数	参加総数	8 名	
	一般参加者	5 名	柱本小学校 5 年教師 2 名、児童 3 名
	講師	1 名	高碕康次氏
	その他 運営事務局	1 名 1 名	柱本実行委員会委員長
スケジュール	9:55	開始	
	10:00	講師の「稲の開花のメカニズム」について説明	
	10:05	稲の開花観察	
	10:20	活動のまとめ	
	10:40	小学校教頭と今後のスケジュールについて確認・終了	
実施場所	高槻市柱本高碕氏提供の学習田		
			

7.2 事前活動

各種資料	稲の開花と受粉(説明資料)
関係機関からの支援内容	柱本小学校、実行組合、神安土地改良区からの人的等の支援
レンジャーの活動内容	高槻市、柱本小学校、実行組合、学習田提供者、地元支援者との協議および事前打ち合わせ

7.3 活動状況



講師から稲の開花のメカニズムについて説明



稲の開花観察



活動のまとめ（参加者の感想）



稲の開花（おしべが開き、おしべの先のふくろがやぶれ、花粉が飛び散る）

7.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲の開花時間が短いのを知らなかった。 ・ 田んぼのなかにたくさんの生きものがすんでいるのを知らなかった。
今後の課題	<p>夏休み期間中の活動と言うこともあり、夏休み前に学校の協力により活動案内を配布しているが、参加人数が少ない。 今後広報の工夫が必要である。</p>

8. 土のう積み体験

・平成 24 年 8 月 25 日(土)

8.1 実施状況

活動名	土のう積み体験「高槻市総合防災訓練」		
担当	高槻出張所管内	吉川河川レンジャー	
開催日時	平成 25 年 8 月 25 日(土) 9:25~11:30		
参加人数	参加総数	50 名	
	一般参加者	43 名	大人 23 名、子ども 20 名
	講師	1 名	茶谷茂氏 (淀川右岸水防組合)
	淀川河川事務所	5 名	
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:25	開始	
	9:55	土のう積み体験開始 (高槻市総合訓練開会と同時)	
		・会場設営準備	
		・土のうに関する質疑応答	
		・国土交通省災害対策用機械の展示	
		・土のうづくり、土のう積み体験	
	11:30	ブース撤収・終了	
実施場所	高槻市郡家本町国衛遺跡公園		
			

8.2 事前活動

各種資料	河川敷での迷惑行為 危険行為(国交省パンフ)、河川レンジャーNews	
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省 当日までの高槻市との折衝、当日の市民対応、当日の準備と器械の提供 高槻市 テント設営、備品と土の提供 淀川左岸水防組合 講師派遣 (市民への土のうづくり技術指導、他) 	
	 <p>国土交通省災害対策用機械の展示 (対策本部車、照明車)、高槻市(起震車)</p>	
レンジャーの活動内容	土のう体験を通じて市民への技術指導	

8.3 活動状況



来場者との防災に関する質疑応答



土のうづくり体験



土のうづくり体験



児童の質問に答えるレンジャー

8.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨による災害が発生した直後であったので関心が高く、 ・これまで大雨のときどうすればよいかわからなかった。 ・大変役に立った。 ・私の職場でも体験をしたい。どうすればよいか。
今後の課題	<p>高槻市の防災訓練時に連動して取り組んで3年目である。 参加者と活動、会話を通じて防災に対する関心が高いことがうかがえる。 今後、中学校、市民親子を対象とした活動に発展させてより広く防災に対する啓発を進めていきたい。</p>

○酒井河川レンジャー（上半期）活動報告

9. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

9.1 活動テーマと活動分野

高槻出張所管内を活動エリアとする酒井河川レンジャーは、「新たなレンジャー活動に向けて」のレンジャー会議、実務研修などでの検討内容を踏まえ、以下の活動テーマのもと 3 つの活動を実施します。

活動テーマ

安心して楽しく遊び学べる淀川をめざします！！

- ①利用に対する地域住民の安全・安心のための「抑止力の輪」づくりを行います。
- ②自然再生への住民参加の仕掛けづくりを行います。
- ②活動で得た地域住民の意見をあらゆる場面で行政に発信します。

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野		活動名	活動目的
河川の適正な利用の推進を図る活動	河川利用者への安全指導	子供の水辺での安全指導	安全な利用の妨げになる危険箇所を把握し、河川の安全な利用を推進するために、チラシ、安全利用ハンドブック等により、利用者への安全指導を行います。
	不法投棄の状況把握	不法・迷惑行為の監視・指導	ゴミの不法投棄やゴルフの練習等、他人に迷惑となる行為の注意喚起を図るため、早朝・夜間・休日パトロールや地域団体、関係機関、占有者等との合同パトロールの実施をめざすと共に、チラシの配布や看板設置等を行い、不法・迷惑行為のしにくい地域づくりを目指します。
川づくり、まちづくりへの参画・支援活動		自然再生への住民参加の仕掛けづくり	日頃の活動時に河川利用者の中から監視・指導を共に行ってくれる協働者と、「自然再生への住民参加の仕掛けづくり」を目標に、ワンド、たまりの自然環境保全・再生工事の見学、モニタリング、意見交換会を行い、河川整備への理解を深めます。

10. 自然再生への住民参加の仕掛けづくり

・平成24年3月3日(土)

10.1 実施状況

活動名	自然再生への住民参加の仕掛けづくり 『第5回三島江切り下げ区域「水辺環境保全・再生ゾーン」の公園づくり意見交換会』		
担当	高槻出張所管内	酒井河川レンジャー	
開催日時	平成24年3月3日(土)13:00～16:30		
参加人数	参加総数	22名	
	一般参加者	15名	地区会議1名、野鳥の会3名、地元釣り愛好会4名、国際ボランティア学生協会2名 他
	協力スタッフ	1名	中川河川レンジャー
	淀川河川事務所	5名	
	運営事務局	1名	
スケジュール	13:00	開始	
	13:15	レンジャーによる活動の経緯と目的について説明	
	13:45	淀川河川事務所副所長による歩行者進入ルート案内板(案)の説明	
	13:50	三島江歴史案内板(高槻市教育委員会)の確認	
	14:00	参加者からの意見と質疑	
	14:15	既設案内版(石)の再利用について意見交換	
	15:35	公民館に戻って意見交換	
	16:30	終了	
実施場所	 <p>三島江切り下げ区域</p> <p>三島江(1) 三島江(3) 三島江(4) 三島江(6) 三島江(7) 三島江(8) 三島江(9) 三島江(10) 三島江(11) 三島江(12) 三島江(13) 三島江(14) 三島江(15) 三島江(16) 三島江(17) 三島江(18) 三島江(19) 三島江(20) 三島江(21) 三島江(22) 三島江(23) 三島江(24) 三島江(25) 三島江(26) 三島江(27) 三島江(28) 三島江(29) 三島江(30) 三島江(31) 三島江(32) 三島江(33) 三島江(34) 三島江(35) 三島江(36) 三島江(37) 三島江(38) 三島江(39) 三島江(40)</p> <p>三島江公民館</p> <p>三島江野草地区</p> <p>切り下げ地</p> <p>たまり</p> <p>出口地区</p> <p>三島江地区</p> <p>出口野草地区</p>		

10.2 事前活動

各種資料	配席図、意見交換会レジュメ(レンジャー作成)、中村俊哉さんのメールでの意見、三島江野草地区における情報発信・公園の魅力や生物を解説する看板について、地区会議(平成23年2月18日)会議録、地区会議のご意見への対応案(三島江・野草地区)
関係機関からの支援内容	高槻市：三島江公民館の貸与 淀川河川事務所：三島江切り下げ地の工事状況 三島江切り下げ地の情報板の現状
レンジャーの活動内容	・三島江切り下げ地の情報発信について、公園管理者と事前調整 ・平成24年2月27日に開催された淀川河川公園の情報発信についての意見交換会に参加する。

10.3 活動状況



レンジャーより活動の経緯と当日の目的について説明



淀川河川事務所副所長による歩行者進入ルート案内板(案)の説明



教育委員会による歴史案内板の案紹介



公民館に戻って意見交換

10.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・切り下げ地の中心部に設置する看板には、切り下げのこれまでの経緯について紹介してほしい。 ・淀川全体の看板の統一性がなくバラバラなので何とかすべきである。特に看板案の赤色はふさわしくない。川らしい色のバランスを考えること。 ・切り下げ区域のマップ上の図は、もう少し立体的に表現できないか、現状では切り下げであるイメージがわからない。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・情報板について、誘導看板、解説看板、情報表示板、注意看板について、目的、設置場所などを検討する。 ・4月から開園予定の三島江切り下げ地の利用ルールを反映した情報発信が必要である。

11. 適正な利用の推進を図る活動

・平成24年2月～平成24年9月

11.1 実施状況

活動名	河川の適正な利用の推進を図る活動	活動場所
担当	高槻出張所管内 酒井河川レンジャー	
開催日時	平成24年2月～平成24年9月 適宜実施（詳細参照）	

活動概要	平成24年2月1日～平成24年9月30日に実施した危険箇所、不法・迷惑行為の実態調査及び水辺での安全指導の活動状況を下表に示します。
------	--

NO	月	日	曜日	場所 淀川右岸	水辺での安全指導		不法・迷惑行為の監視・指導		参加者数	備考
					危険箇所の調査	水辺での安全指導	不法・迷惑行為の調査	不法・迷惑行為の監視・指導		
1	2	5	日	16.0k～21.4k	○	○	○	○	5名	ラジコンカー
2		19	日	桂川中之島公園	○	○			70名	桂川クリーン作戦 協働者の発掘
3	4	15	日	29.0k～21.4k	○	○	○		9名	バイク進入・違法 駐車・ラジコン
4		29	土	21.4k～15.8k	○	○	○		4名	バイク進入・迷惑 ゴルフ
5	5	3	木・祝	29.0k～22.9k	○	○	○		5名	迷惑ゴルフ
6		7	月	26.0k～32.0	○		○		5名	
7		13	日	右岸 16.0k～28.0k 城北ワンド	○	○	○		50名	外来種駆除作戦
8	6	6	水	市立第七中学校 21.4～26.0k	○	○	○		4名	協働者の発掘
9		14	木	21.4～26.0k	○	○	○		5名	瀬田川洗堰放流
10	6	21	木	立命館大学					70名	協働者の発掘
11	7	21	月・祝	右岸 16.0k～26.0k 城北ワンド	○	○	○		80名	城北クリーン作戦
12	7	12	木	近畿地方整備局					60名	管内技術発表 協働者の発掘
13	8	5	日	29.0k～22.9k	○	○	○		4名	バイク・ラジコン
14		19	日	21.3k～15.9k	○	○	○		15名	
15	9	8	土	28.4k～21.4k	○	○	○		6名	迷惑駐車
16	9	22	土	21.4k～25.8k	○	○	○		5名	
									397名	

関係機関からの支援内容	○淀川河川事務所(河川管理者、公園管理者) ①必要資料(安全指導時に利用するパンフレット、チラシ等)の提供 ②水辺の危険箇所調査情報の提供 ③不法・迷惑行為の実態調査の情報 ④不法・迷惑行為の調査及び協働者の発掘に対する情報
-------------	--

活 動 内 容	<p>1. 水辺の安全指導</p> <p>◎5月3日</p> <p>1. 大塚地区 大塚船着場が琵琶湖 250 トン放流で淀川が洪水で浸水 ・ 30cm 位の浸水深だがカラーコーンなどの安全対策無し ・ 安全対策について検討が必要か。</p> <p>3. 三島江切り下げ地 ・ 淀川の洪水で 3 箇所への進入ゲート閉鎖 琵琶湖 6 時 -21cm 250 トン放流 ・ 副園路に野犬の足跡が複数 ・ 水路部の流入部より洪水が進入し冠水状態 ・ 枚方水文状況 5月3日 1時 -3.03m 6時 -2.78m 10時 -2.69m</p> <p>◎6月21日 第2回三島江切り下げ地草刈り作戦結団式</p> <p>1. 淀川講座 学生協会の学生に淀川の歴史、環境、治水及び水辺の安全について、基本的な事項について講演した。 また、河川レンジャー発見講座で使用した淀川用語集に基づき説明した。</p> <p>2. 当日の安全管理 三島江切り下げ地、出口地区の危険箇所などについて具体的に写真に基づき水辺の安全について議論した。 例) 注射針、ハチ、蛇、野犬など 水際、カマ</p> <p>2. 不法・迷惑行為の状況把握</p> <p>◎8月19日</p> <p>1. 一津屋野草地区の野犬 この地区は特に野犬が多く出没するので注意が必要。公園管理者も野犬の監視を実施中。 ・ 16.5k 野犬 7 匹確認 ・ 16.4k 葦帯の中に仔犬がいるようで親犬が出入りを確認。</p> <p>2. 公園管理者の野犬情報 7月20日早朝 9匹 8月10日8時 8匹 仔犬1匹 8月18日17時30分 14匹</p> <p>3. 水上バイクを利用エリア外で確認 ・ 18k の鳥飼野草地区で水上バイクを確認</p> <p>3. 監視指導を共に行う協働者の発掘</p> <p>◎6月6日 第2回三島江切り下げ地外来種草刈作戦 参加要請 神戸先生 ・ 草刈り作戦への中学生の参加を要請した。 ・ 現在理科クラブには 17 名の中学生がいる。参加の方向で進めたい。 ・ 中学生は体力的に長時間は難しい。作業時間としては 1 時間が限度である。 ・ 理科クラブは淀川の外来魚、ゴミ問題を調査している。高槻市の発表会にも参加し高い評価を得ている。</p> <p>4. 近畿地方整備局管内技術研究発表会 活動発表</p> <p>◎7月12日 監視指導に伴う協働者の発掘、また「活動テーマである「活動で得た地域住民の意見をあらゆる場面で行政に発信します。」の一環で、淀川管内河川レンジャーとして、下記題目で地域づくり・コミュニケーション部門で発表した。</p> <p style="text-align: center;">淀川の自然環境「保全・再生」と「水辺の触れあい」 ～地域住民 VS 河川管理者の進入防止柵をめぐるせめぎあい～</p>
---------	--

	<p>発表内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域住民 VS 河川管理者 2. 河川環境を保全・再生する取り組み 3. 切り下げ区域意見交換会の開催 4. 切り下げ区域意見交換会の成果 5. 今後の課題 三島江意見交換会をステップアップさせて、切り下げ地の維持管理について対策を検討する。
--	--

11.2 活動状況



洪水冠水によるヘドロの堆積（大塚船着場）



唐崎自然再生工事付近のバイクの不法駐車



一津屋野草地区に出没した野犬(6匹)



一津屋地区の水上バイク利用期間の告知看板

11.3 意見・課題

<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 河川レンジャー活動の方向性 <u>レンジャーが淀川の河川管理上の課題、問題をレンジャー活動を通して把握し、今後のレンジャー活動に反映させる。</u> <u>問題、課題についての対応など、地域住民、河川管理者と連携・協働しながら河川整備を進めていくために、橋渡し役になる。</u> 河川・公園管理上の問題、課題の事例 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者を安全の川に近づける。 ・河川敷よりも河川の水際にゴミが多数散乱 ・ワンドが洪水の都度ヘドロが堆積し釣り等親水活動に支障 ・バイクの進入、ゴルフ練習、水上バイクなどの迷惑行為 ・野犬、ホームレス対策 など 2. 地域住民の安全・安心のための「抑止力の輪」づくり 行政だけではできない、新たな仕組みづくり「河川利用見守り隊」仮称の結成
--------------	---

12. 自然再生への住民参加の仕掛けづくり

・平成24年6月24日(日)

12.1 実施状況

活動名	自然再生への住民参加の仕掛けづくり 『第2回淀川河川公園 高槻「三島江河川切り下げ区域」 外来種等の草刈り作戦』		
担当	高槻出張所管内	酒井河川レンジャー	
開催日時	平成24年6月24日(土) 9:00～18:00		
参加人数	参加総数	192名	
	一般参加者	178名	地域住民25名、大学生136名、 中学生17名
	講師	1名	綾史郎氏(大阪工業大学 教授) 国際ボランティア学生協会(協会2、 学生5名)、三島江意見交換会参加メ ンバー1名等
	協力スタッフ	9名	
	淀川河川事務所 運営事務局	3名 1名	
スケジュール	9:00	開始 ・開催準備	
	10:30	開会挨拶(酒井レンジャー、学生協会代表)	
	11:20	三島江ワンド周辺、三島江切り下げ地清掃開始	
	13:40	出口地区学生合流、・三島江切り下げ地草刈り開始 ・第七中学校理科クラブ17名合流	
	15:30	草刈り終了	
	16:00	学生協会主催による交流会 ・講師による「淀川講座」 ・第七中学校理科クラブ活動発表	
	18:00	終了	
実施場所	(場所) 高槻市三島江高水敷(公園および切り下げ部)		

12.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回淀川河川公園高槻「三島江河川切り下げ区域」外来種等の草刈り作戦チラシ ・ 草刈り作戦企画書
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際ボランティア学生協会の参加大学 同志社大学、立命館大学、龍谷大学、関西大学、滋賀大学、京都産業大学、拓植大学、同志社女子大学、京都外国語大学、神戸松蔭女子大学、神戸国際高等学校 ・ 高槻第七中学校理科クラブ
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共催団体である学生協会との各種調整 ・ 高槻第七中学校理科クラブ顧問との発表内容調整 ・ 大阪工大綾先生と草刈り範囲の現地調査

12.3 活動状況



開会



三島江ワンド周辺の活動状況



三島江切り下げ地の活動状況



希少な自然環境（カヤネズミの巣）



三島江切り下げ地のゴミ・刈草集積状況



講師による「淀川講座」

12.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>○なにをもってこの活動の長期的なゴールなのかが見えたらバッチシ。 ○今回出口地区のゴミ拾いでしたが、非常に多いゴミに驚きました。こういった現状を捉え、今後の解決に何らかの貢献をしたいと思います。 ○初めての参加で地域の方や中学生と一緒に活動できたのが良かった。 ○様々な人と交流ができることは、コミュニティを構成する上でとてもいいことだと思う。 ○楽しかったし、前回と比べてとても良くなっていると思った。 ●もっと地域の人に参加してほしい。 ●中学生との交流がなかなかうまくいかなかった。 ●装備が十分でなかった。 ●ハチの巣が危険である。 ●広報が十分でなかった。</p>
<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 三島江地区の草刈りの継続性 <ul style="list-style-type: none"> ・数百人規模で参加がある大学生との連携 活動の長期的なゴール 人材育成、組織の勉強、地域美化 ・地元中学生との連携 2. 草刈りへの地域の参加者の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会等との連携 ・高槻シルバー人材など 3. 草刈りの三島江地区から他地区へのひろがり <ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャー間の連携 4. 三島江切り下げ地ワンドでの環境学習

○中川河川レンジャー（上半期）活動報告

13. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

13.1 活動テーマと活動分野

高槻出張所管内を活動エリアとする中川河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、4つの活動を実施します。

活動テーマ

- ・ 歴史を振り返りつつ住民と共に水防を考える。
- ・ 高齢者、身障者を河川に誘導。

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川の適正な利用の推進を図る活動	河川に係わる歴史、文化の普及。	予期せぬ災害が続く中、摂津市周辺地域の防災を考え、歴代の洪水を振り返りつつ参加者の方々と講師を中心に学びの場を持つ。
	住民と共に水防を考える。	予想も付かない災害が起こっています昨今。住民との助け合いが大切になって来ています。水防活動を通じて、地域住民との繋がりを深めるきっかけづくりに。
河川行政と地域、住民、住民団体とのコーディネートを図る活動	高齢者、身障者、幼児を河川に誘導。	高齢者、身障者の方々は河川の近くを散歩されても河川の中迄は中々入る事は出来ませんが、利用設備の整っている鳥飼下地区で、ホッとした「一刻」を持って頂きたい。
	淀川ウォーク。	摂津市の方々を中心に毛馬閘門迄、歴史、史碑、建物、橋等の説明。 淀川から閘門迄の水の流れ、大阪湾に流れ出る迄の水位の処理を実感して頂く。

14. 高齢者、身障者、幼児を河川に誘導

・平成24年4月20日(金)

14.1 実施状況

活動名	高齢者、身障者、幼児を河川に誘導 『尺八の世界 in 鳥飼フットサルコート』		
担当	高槻出張所管内	中川河川レンジャー	
開催日時	平成24年4月20日(金) 10:00~15:30		
参加人数	参加総数	79名	
	一般参加者	63名	大人 54名、幼児 9名
	講師	1名	田嶋直士氏(尺八奏者)
	協力スタッフ	10名	吉川、福井河川レンジャー、仁枝河川レンジャーアドバイザー、福井氏、古賀氏、熊谷氏、三木氏、衣川氏、平木氏 裕永氏
	運営会議委員	1名	金子委員
	淀川河川事務所	2名	
	運営事務局	2名	
スケジュール	10:00	開始・会場設営	
	12:45	水道管尺八のスタッフ試奏	
	13:40	レンジャーによる活動の趣旨説明	
	13:50	水道管尺八の作成手順説明	
	14:00	参加園児によるシャボン玉づくり	
	14:05	参加者による水道管尺八の演奏	
	14:30	講師演奏と聴衆	
	15:30	ケーブルTVのインタビュー後、閉会・終了	
実施場所	<p style="text-align: center;">淀川河川公園鳥飼フットサルコート</p> 		

14.2 事前活動

各種資料	河川レンジャーNewsNo18, 19, 20、アンケート用紙、水道に関する資料
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 中央流域センター：簡易テント、ブルーシート、 高槻出張所：土のう袋、各参加園よりイス 淀川河川公園：フットサルコートの使用許可
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 流域センター集合 鳥飼サービスセンターにスタッフ集合 会場設営 スタッフの紹介 <ul style="list-style-type: none"> 講師田嶋氏の紹介 今回の趣旨説明 琵琶湖から家庭の水道・蛇口までの水のあり方の説明 H19年度の大阪府の水道管の長さ・使用水量・人口。

	<p>摂津市の使用水道管の長さ・使用水量・人口の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道管尺八の作成手順の説明 ・前もって作成していた水道管の尺八を持っている方々と参加者・幼児と合唱 ・終了の挨拶、アンケートの依頼 ・アンケートの回収 ・ケーブルテレビよりインタビューを受ける
--	--

14.3 活動状況



会場設営



講師による「水道管尺八の作成手順」説明



参加者による水道管尺八の演奏



講師の演奏

14.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>高齢者・身障者を河川に誘導の参加回数 一回目 (28名) 二回目 (9名) 三回目 (0名)</p> <p>今回参加して良かったと思いますか？ はい (37名) いいえ (0名)</p> <p>今回参加して感じた事を、ご自由にお書き下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田嶋先生、前回同様、熱心に演奏、ありがとうございました。スタッフのみなさん、少し雨の中をおつかれ様でした。 ・ 生の尺八の音色、心に響きました。水道管であれだけの音色が出るとは、おどろきました。 ・ スタッフの方々、ボランティアの方々がとても細かく手配りされていて感心致しました。尺八でこんなに楽しく巾広い音楽が楽しめるとは思いませんでした。感動の一言です。 ・ アンコール曲はすばらしかったです。 雨の為、少し寒かったです。 ・ 子供さん達も参加していて可愛くて良かった。 ・ 自然の中で知っている曲を沢山聞けてとっても良かったです。 ・ 尺八の音にみせられて、久しぶりにいやされました。 ・ とっても良かった。
-----------------	---

- ・ 足が悪いので、椅子の用意等があればと思います。
- ・ なじみのある歌も演奏していただき楽しく聞かせてもらえた。
- ・ 雨でしたが、多くの参加者があって良かった。こうした流域のやすらぎの場づくりは、とても大切だと思います。
- ・ 余り機会の少ない野外コンサートでしたが迫力のある演奏に感動いたしました。
- ・ 屋外のイベントなので、天候による対応大変でしたが、参加された方は楽しんでおられたようなので良かったと思います。(園児の参加が少なくなってしまい少し残念でした)

次回はどの様な事に参加したいと思いますか？

- ・ 思いつきませんが、できる範囲で参加させていただきます。
- ・ ありがとうございます、次回のコンサート（尺八）にも是非参加したいです。
- ・ 誰もが参加できるようなイベント。今回もとりかい保育園の児童と一緒に口ずさんだり、できることは良いと思います。
- ・ 青空の下なら何でも（高齢者、幼児が楽しめるなら）
- ・ なんでもいい、動けるうちに参加したい。
- ・ リクエストして、吹いてほしい。
- ・ 何かイベントがあったら参加する。

今後どの様に進めて行くと、もっと良くなりますか？

- ・ 野外で行う事なら何でも良いと思います。
- ・ 人数等、ちょうどよかったのではないかな。
- ・ 人数の多少ではなくて定期的にやったら良いと思います。来場者に次回、日程と内容と連絡があり継続に来てもらえ、その方が輪を広げてくれると思います。
- ・ 当園からイスを人数分持って行ったのですが、他の方が座ってしまわれたので足りなくなりました。次回、必要でしたら当園にまだまだ、たくさんあるのでおっしやって下さい。
- ・ もっと一体感になるような工夫が必要と思われます。

スタッフの方は、どの様な事に気を使われましたか？

- ・ みなさんすごくやさしく接してくれました。
- ・ とっても親切にいただき有り難かったです。
- ・ 雨降りの中、準備が大変だったと思います。お天気が良ければもっと楽しかったでしょう。ありがとうございました。
- ・ 各自、持ち場でがんばっておられ良かった。
- ・ 椅子利用の方の座席確保。ビデオ、写真、写りたくない方への配慮。トイレ誘導。足もと。
- ・ 足腰のハンディのある方にイスを配布したりされていました。
- ・ あいにくの雨でいろいろ対応が大変だったと思いますが、テントやシート、配慮して頂けた様に思います。
- ・ 今回は服装に注意しました。それでも少し寒いとおっしゃる方がおられました。車を停めてどのくらい歩く必要があるのかわからなかったのも、少し不安もありましたが、今回、参加させて頂いたことで、次回の参考になると思います。

・ 転倒（9人）

今回の会場、鳥飼フットサルコートは直ぐ分かりましたか？

- ・ はい・・・5名
- ・ 分かりました・・・5名
- ・ 直ぐ分かった・・・3名
- ・ 分からりにくかった・・・2名
- ・ 地図で分かりました。
- ・ タクシーに乗って来ましたので、少しわかりにくい？
- ・ 車で行ったからすぐわかった。前にも行ったから。

会場の周りを、どの様に工夫すれば分かり易いですか？

- ・ 入り口に、すこし大きく目だった案内がほしい。
- ・ 堤防の登り口に、会場への矢印等ついていたら分かりやすい。

	<p>上迄上がらないと分かりにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入ってすぐの所に、右へまがる立て札があると良い。 ・ 堤防に上がるところに案内板（タテフダ）を立てれば。 ・ 道順をはり出してほしい。 ・ 会場、駐車場の誘導。 ・ 今回、テントとこいのぼり。 ・ 会場への案内などは、旗（色のついた）などで印があればより分かり易く思いましたが。 ・ 特にありませんが、途中で道案内があれば分かりやすいです。 ・ 目立たせる。 ・ テントの色で分かったので、何もしなくてOK。 ・ 文化会館ですればいい。雨でも使えるところにする。 <p>お手洗いなどは、いかがでしたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近くて使いやすい。 ・ 簡易をおいて下さり、急ぎの方にはやさしかった。急ぎでない方は入ってすぐ出て来られた。ポータブルはあまりいい印象を持ってない方もおられたようです。 ・ 使用していないが、簡易トイレとしては良いかと思います。 ・ 今回は利用しなかったので・・・わかりませんでした。 ・ 利用していない・・・9名 <p>その他に、意見がありましたら記して下さいませ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、雨天でありましたが対策がとられていたので、OKでした。 ・ 皆様、お疲れ様でした。 ・ 本当に尺八って良い音色ですね。 ・ 主催者のご苦労、大変でした。 ・ 会場内のタクシーの行き先がわからず？ ・ シャボン玉が割れて衣服やバッグが染みになります。客席に流れて来ないようにしていただきたかったです。タイトルに高齢者、身障者としてしまうと、御近所の方にお声を掛けても「私はまだ、違います」と言われました。一般参加者も来やすいタイトルを工夫して下さい。 ・ 過酷な場所での熱演をしていただきました。ありがとうございました。 ・ アンケートを書くにも、一緒に来た人の大半に台が必要であったり記述式のものでは、何を書いているのかわからなかったり。選択式の項目を増やされてはいかがでしょう。 ・ ありがとうございました、又の機会に是非。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テントを増やす ・ イスの利用 ・ 基本的には高齢者（認知症を含む）、身障者の参加を考えているが、一般の参加者が多くなると物事に対する受け取り方が違って来る。一般参加者もしっかりと自分の立場の事を訴えられる、身障者の方々を優先してほしいと思うのですが、これからの次のステップへの課題です。 <p>参加人数に関しては行事が三回目を迎え、参加して下さる園も増えて来ていますが、同じ参加の園ばかりではなく、他の園からも一人でも多くの方々に淀川河川の中でホッとした「一刻」を持って頂きたい。</p>

15. 住民と共に水防を考える

・平成24年6月8日(金)

15.1 実施状況

活動名	住民と共に水防を考える		
担当	高槻出張所管内	中川河川レンジャー	
開催日時	平成24年6月8日(金) 8:30~13:00		
参加人数	参加総数	16名	
	一般参加者	8名	大人8名
	講師	1名	柘永正光氏(防災エキスパート)
	協力スタッフ	5名	仁枝河川レンジャーアドバイザー 吉川河川レンジャー 三木氏、奥田氏、衣川氏
	淀川河川事務所	1名	
	運営事務局	1名	
スケジュール	8:30	開始	
	9:30	参加者受付	
	9:45	講師による水防の講義	
	10:15	土のうづくり、水防工法体験	
	11:30	体験終了、鳥飼サービスセンターに移動	
	12:00	参加者アンケート記入・感想等まとめ、意見交換	
	13:00	終了	
実施場所	<p style="text-align: center;">鳥飼サービスセンター</p> 		

15.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ・一口メモ(社団法人建設公報協議会発行水防工法ハンドブックより抜粋) 土嚢の作り方、縄の結び方、積み方、越水対策等工法 ・アンケート
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津市役所:スコップ、たこつち、石箕 ・高槻出張所:土のう袋、土のう、まさ土 ・淀川河川公園:鳥飼サービスセンターの利用 ・中央流域センター:旗のポール
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中央流域センターに集合 ・鳥飼サービスセンターに集合 テントの設営 レンジャーの旗の設営・案内板の設営 受付の設営 白板の設営 資料パネルの設営 ・参加者を随時実施場所に誘導 ・スタッフの紹介、講師の紹介、参加者の紹介 ・講師より水防の講義、パネルの説明と共に ・参加者による土のう造り 土のう積み方を淀川右岸地域の積み方で奥田氏より、講師の指導で淀川

	左岸地域の積み方と、双方の積み方の比較 ・ 体験終了 アンケート回収依頼 ・ 会場を鳥飼サービスセンターに移動 参加者アンケート記入 感想等意見交換
--	---

15.3 活動状況



講師による過去起こった水害の話



講師氏による水防の話



土のうづくり、土のう積み体験



家庭にあるもので簡単に出来る簡易水防方法の紹介

15.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土のうを造るのは人事だと思っていましたが今回、体験して身近に感じ、とっても勉強になりました。 ・ 地元の方の土のう造り、積み土のう工とレンジャーの造り方の比較が出来て良かった。(色々なやり方があることを知る事が出来た) ・ 土のうにも右岸と左岸で仕方が違うのに感心しました。 ・ 様々な土のう造りの方法がありとても勉強になりました、川上と川下がつかみがたい。 ・ 防災についてもっと勉強をしたい。土のう造り以外の方法があれば。 ・ 土のう造りを月の輪工とか釜段工などをされては。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 摂津市民の土のう袋の確保。 学校のグラウンド、公園の土を使うのかの声が出る、次のステップに繋がりたい。 ・ 防災についての懇話会を設ける。 ・ 市民に普段より身近なマンホールの位置等を確認する様に意識付け。 ・ 各家庭の玄関に、雨水時の備えとして、杖を置く実践を。

16. 住民と共に水防を考える

・平成 24 年 8 月 3 日(金)

16.1 実施状況

活動名	住民と共に水防を考える『摂津市の歴史～洪水と防災-2～』		
担当	高槻出張所管内	中川河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 8 月 3 日(金) 9:00～12:00		
参加人数	参加総数	7 名	
	一般参加者	4 名	大人 4 名
	講師	2 名	奥田進氏 (摂津ふるさと案内人) 裕永正光氏 (防災エキスパート)
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:00	開始	
	9:30	レンジャーによる活動主旨説明と資料説明	
	9:40	講師による摂津市の歴史・洪水と防災についての講義	
	11:00	レンジャーによる洪水に対する備えについての説明、質疑応答	
	11:25	終了、アンケート	
	12:00	会場整理・終了	
実施場所	<p>活動場所：鳥飼サービスセンター</p> 		

16.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> 施設マップ マイ防災マップの作り方 淀川流域図 平成 23 年度調査結果(水質結果) 自分の命を自分で守るために 河川レンジャーNews 天声人語 堤防断面図
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> マイ防災マップ、マイ防災プラン・作成の手引き 自分の命を自分で守る為に・日本河川協会・平成 24 年度版 (淀川河川事務所提供) 淀川流域資料：以前味生公民館の出前講座資料を中央流域センターにて 今回、奥田講師の使用部分をコピー作成。 鳥飼サービスセンター会議室 2F 借用。
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 会議室・会場設置、行事日程を設置、次回の行事案内を設置 配布資料の確認、説明 奥田進講師：摂津市の歴史、洪水について講義 堤防断面図の説明 摂津の川の様子。 {内容} 配布資料を参考・近隣住民との川つながり・昨今の水質について・堤防の断面・昔の堤防の作りについて・堰が決壊する恐れのある川の見分け方・裕永氏の学生時代の川体験のお話・堰が切れたときの

	<p>川の流れ方・ダム・管轄について・安威川と淀川の洪水の違い(水流・川幅など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中川:平成18年3月発行、まさかの洪水に備えて～摂津市洪水ハザードマップ～ <p>近年の在り方と違って来ている為、地域の方々が再度話し合い、より良き物が出来ると良いと説明。質疑応答。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終了、アンケート ・談話会に ・談話会終了 会場整理
--	---

16.3 活動状況



講師による講義



質疑応答:
枚方大橋の由来や十三の渡しの由来など

16.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>今回参加して感じたことを、ご自由にお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師の説明が良く理解出来た。 ・ 参加者からの意見交換も良かった(座談会) ・ 奥田先生と裕永先生のお話、非常に参考になりました。特に印象に残った話は裕永先生の幼少期(中学生)に体験された水死体の引き上げ方です。現在に比べ昔はお亡くなりになられた方が多いとおきし、現在の川の管理とは異なって近隣住民の人たちが回収して吊っていたのには正直、びっくりでした。 ・ 少人数でおちついた空気の中で、アットホームな会でした。昔の、このあたりの空気を感じることが出来ました。 ・ 貴重な話しと資料、どうもありがとうございました。 ・ 又、談話が素晴らしかったです。 ・ 水災害について淀川の水のおそろしさ、堤防のおそろしさ、安威川と番田川の事が少しわかりました。 ・ 資料学、お互いに持ち寄る井戸端会議のように情報交換会を定期的にしたら良いのでは。 <p>次回はどのような事をしたいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 淀川流域のウォークがあれば。 ・ みなさんの子ども時分の川のエピソードなど(体験)きいてみたいです。私も川で遊んでいた方ですが、昔の川環境とは異なるのできいてみたいです。 ・ 川をはさんで交流をするイベントはいかがでしょう。 ・ そちらが提案していただいた資料館(新たな淀川の)の見学をお願いします。 ・ 安威川、番田川、神崎川、淀川についておしえて下さい。 ・ 淀川を語る会とか。
-----------------	--

<p>今後の課題</p>	<p>事務所に摂津市の公民館の方々から様々な出前講座が企画されているようであり、説明、資料共に勝るもので在る為、私の摂津市の歴史と洪水については、今回で終了の方が良いと思う。</p> <p>今回、参加の方々より月に一度、定期的に4,5人程度で摂津市の地域川のあり方を話し合っては、との意見があり前向きに進めて行きたい。鳥飼サービスセンターに知人を誘う事が大変である。(地域からは30分余かかる)</p> <p>多くの方々から、この様な話を聞くが現在ある物は使用。又、少しでも地域(摂津)の方々を淀川近くの鳥飼サービスセンターに足を向けて欲しいとガンバッテいます。(近隣の会館を使用すれば楽であるが)この件に関しては、続行します。</p>
--------------	--

○杉本河川レンジャー（上半期）活動報告

17. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

17.1 活動テーマと活動分野

高槻出張所管内を活動エリアとする杉本河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、3つの活動を実施します。

活動テーマ

1. 川と自然とのかかわりを理解する体験学習プログラム
「高槻ジュニア河川レンジャー」制度の導入
2. 若者を中心とした河川の清掃活動「川コンプロジェクト」の実施
川でできることを考える意識づくり
3. 安全で楽しい河川の利用を呼びかける啓発活動
摂津峡など河川利用のマナー向上を促すキャンペーン等

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川の環境保全を図る活動	川コン（清掃活動とコミュニケーションの場作り）	河川（淀川・芥川）にふれ合うきっかけ作りとして、若者を中心とした清掃チームを結成、その活動を支援する。また、河川でできるプロジェクトを参加者間で企画し、交流を深めると共に河川愛護の向上を目指す。
活動地域への啓発活動	高槻ジュニア河川レンジャー	子どもたちが四季を通じた体験学習活動に参加することで河川を知り、自然を守る「高槻ジュニア河川レンジャー」として育成する。また、子どもを取り巻く市民の方にも参画頂き、河川への理解と「川を通じた街づくり」につなげていく。
	河川啓発活動	バーベキューや不法投棄の問題を解消するために、河川利用者のマナー向上を促すキャンペーン活動を実施し、安全で楽しい河川空間の創出をめざす。

18. 高槻ジュニア河川レンジャー

・平成24年5月12日(土)

18.1 実施状況

活動名	高槻ジュニア河川レンジャー 『第1回たかつきジュニア河川レンジャー』		
担当	高槻出張所管内	杉本河川レンジャー、中島河川レンジャー	
開催日時	平成24年5月12日(土) 10:00~12:00		
参加人数	参加総数	21名	
	一般参加者	9名	大人4名、子ども5名 亀甲谷(きこや)義高氏ほかスタッフ2名(たかつき環境市民会議)
	協力スタッフ	11名	中川修一氏(高槻まつり振興会) 三橋覚氏ほか2名(大阪府茨木土木事務所) 三木正博教授ほか学生2名(平安女学院) 山本氏(あくあびあ芥川)
	運営事務局	1名	
スケジュール	10:00	開始	
	10:30	あくあびあ芥川施設全体の概要について説明	
	10:45	自己紹介(参加者及び協力スタッフ)	
	11:10	施設内見学	
	11:25	芥川の概要についての解説と落差工と魚道の現地説明	
	12:00	終了	
実施場所	あくあびあ芥川 		

18.2 事前活動

各種資料	スタッフの皆さんへ(当日レジュメ)、ジュニア河川レンジャーを目指して(レジュメ)、洪水リスク開示図(茨木土木事務所)、みんなの淀川をみんなで守ろう(淀川河川事務所)、たかつきジュニア河川レンジャー(プログラム)、淀川の希少淡水魚(図鑑パンフ)
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・募集チラシの印刷(高槻出張所、中央域流域センター) ・当日配布資料の提供等(高槻出張所、茨木土木事務所、水道記念館) ・スタッフ支援(たかつき環境市民会議、高槻まつり振興会、大阪府茨木土木事務所、平安女学院、あくあびあ芥川)
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・募集チラシの作成・配布 ・流域小学校へ協力依頼 ・事前打ち合わせ ・現地下見 ・当日の運営

18.3 活動状況



茨木土木事務所より芥川河川の概要



レンジャーによる施設内展示の説明



レンジャーによる芥川と高槻市との位置関係を示す陶板地図の説明



茨木土木事務所より芥川落差工と魚道の現地説明

18.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>参加者のアンケートより</p> <p>Q. 参加した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面白そうで川を知りたかったから ・魚つりや川遊びがしたかったから ・魚がとれるから ・川の生態系に興味があるから ・わくわく探検隊の隊長がやっているから <p>Q. ジュニア河川レンジャーでやりたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな魚をさわってみたい ・さかなつり ・川あそび <p>Q. 参加した感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚道をはじめて見たのでビックリした ・あくあびあにはいろんな魚がいた ・いろんなことが知れてよかった ・魚道を魚が上がっていることを知ってよかったです ・川のことが少しわかりました
<p>今後の課題</p>	<p>参加者募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学校へ募集チラシを配布頂くために準備を進めていたが、市教育委員会の後援許可が大幅に遅れるなど、事前の広報活動が十分にできず、参加者確保に至らなかった。 (小学校土曜参観日とも重なったこともあり数名の欠席連絡あり) ・今後、学校行事と重ならないように日程を調整する。 (秋の運動会ピーク時は実施を避けています) ・年間プログラムを展開するために、参加者募集活動を引き続き行っていく。

19. 高槻ジュニア河川レンジャー

・平成 24 年 6 月 2 日(土)

19.1 実施状況

活動名	高槻ジュニア河川レンジャー 『キミとボクらの川遊び！たかつきジュニア河川レンジャー』		
担当	高槻出張所管内	杉本河川レンジャー・中島河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 6 月 2 日(土) 9:00~12:00		
参加人数	参加総数	42 名	
	一般参加者	28 名	大人 7 名、子ども 21 名
	講師	1 名	横山達也氏(水道記念館)
	協力スタッフ	11 名	たかつき環境市民会議・水道記念館・平安女学院、他
	高槻市	1 名	
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:00	現地集合・開始	
	9:05	スタッフミーティング	
	10:00	レンジャーによる活動の注意事項説明	
	10:20	投網実演の見学	
	10:30	魚取り、生き物探し	
	11:07	講師より捕獲した魚の説明	
	11:25	活動の感想アンケート	
	12:00	後片付け・終了	
実施場所	(場所) 芥川大橋下流		

19.2 事前活動

各種資料	スタッフの皆さんへ(当日レジュメ)、 たかつきジュニア河川レンジャー(プログラム)、 淀川の希少淡水魚(図鑑パンフ)
関係機関からの 支援内容	募集チラシの印刷(高槻出張所、中央域流域センター) 当日配布資料の提供等(茨木土木事務所、水道記念館) 近隣小学校へチラシ配布依頼(5校)
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・募集チラシの作成・配布 ・流域小学校へ協力依頼 ・事前打ち合わせ ・現地下見 ・当日の運営

19.3 活動状況



・魚取り風景



・魚取りの指導等



・講師による捕獲魚の説明



・説明に聞き入る子供達

19.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>参加者のアンケートより</p> <p>Q. 参加した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川遊びをするから・アユを見つけると書いてあったから ・魚をとりたかったから・魚に興味があるから <p>Q. ジュニア河川レンジャーでやってみたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚をつかまえてさわってみたい・さかなつり ・川あそび・人に魚をおしえたい ・魚となかよくしたい・とあみ ・川のしくみをしりたい・川をきれいにしたい <p>Q. 参加した感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな魚がいてビックリした・魚の勉強ができてよかった ・魚をさわられてよかった・いろんなことが知れてよかった
<p>今後の課題</p>	<p>参加者募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の反省をふまえ、地域の小学校、協力団体へ募集チラシを配布し、参加者増加につながった ・参加者の保護者に芥川大橋左岸すぐの事業所があり、今後トイレ使用など遠慮なく申してくださいとのこと。 ・引き続き参加者募集活動を行っていく。

20. 高槻ジュニア河川レンジャー

・平成24年6月24日(日)

20.1 実施状況

活動名	高槻胃ジュニア河川レンジャー『淀川大堰を歩いてみよう』		
担当	高槻出張所管内	中島河川レンジャー、杉本河川レンジャー	
開催日時	平成24年6月24日(日) 9:00~14:30		
参加人数	参加総数	27名	
	一般参加者	22名	大人10名、子ども12名
	講師	1名	横山達也氏(水道記念館)
	協力スタッフ	2名	亀甲谷(きこや)義高氏ほかスタッフ
	淀川河川事務所	1名	2名(たかつき環境市民会議)
	運営事務局	1名	
スケジュール	9:00 JR高槻駅集合・開始(バス移動) 11:05 淀川大堰到着、レンジャーから施設の概要説明 12:05 淀川大堰の魚道見学と説明 13:00 十三干潟で生きもの観察 13:35 魚合わせ(生物種の同定) 14:30 阪急柴島駅にて解散・終了		
実施場所	毛馬出張所→淀川大堰→柴島実験干潟		

20.2 事前活動

各種資料	ジュニア河川レンジャーって?(レンジャー作成)、プログラム進行(レンジャー作成)、淀川大堰毛馬水門開門、淀川を空からみてみよう!淀川おもしろウォッチング(国交省パンフ)、河川レンジャーNews、
関係機関からの支援内容	募集チラシの印刷(高槻出張所、中央域流域センター) 当日配布資料の提供等(高槻出張所、毛馬出張所) 近隣小学校へのチラシ配布依頼 安全ヘルメットの提供(高槻出張所、中央域流域センター)
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 募集チラシの作成・配布 流域小学校へ協力依頼 事前打ち合わせ 現地見 当日の運営

20.3 活動状況



レンジャーから施設の概要説明



淀川大堰の魚道見学と説明



十三干潟で生きもの観察



魚合わせ(講師による生物種の同定)

20.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>参加者のアンケートより</p> <p>Q. 参加した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちにさそわれた ・ 川に入れて楽しそうだったから ・ 魚や生き物にきょうみがあるから ・ 淀川おおぜきに行きたかったから ・ 干潟に行ってみたかったから <p>Q. 参加した感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いっぱい歩いてつかれたけど楽しかった ・ この前(実施日前)の大雨で川が増水していた ・ 淀川おおぜきがスカイツリーと同じくらいの長さビックリした ・ しじみがいっぱいいた ・ 淀川の歴史が知れてよかった
<p>今後の課題</p>	<p>参加者について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の参加者が新しい参加者を連れてくるなど徐々に広がってきている。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 増水のため淀川大堰を通行することはできなかったが、雨がふるとたくさんの方が流れ、それを守っている人がいるということ子どもたちに伝えることができたと考えている。 ・ プログラム実施にあたり、高槻・毛馬出張所の皆さんにご協力、配慮を頂きました。ありがとうございます。

21. 高槻ジュニア河川レンジャー

・平成 24 年 8 月 25 日(土)

21.1 実施状況

活動名	高槻ジュニア河川レンジャー『夏の摂津峡で遊ぼう！学ぼう！』		
担 当	高槻出張所管内	中島河川レンジャー、杉本河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 8 月 25 日(土) 8:50~12:00		
参加人数	参加総数	28 名	
	一般参加者 高槻 F C クラブ 協力スタッフ 運営事務局	9 名 子ども 8 名、大人 1 名 11 名 子ども 8 名、大人 3 名 7 名 たかつき環境市民会議、N P O 法人ノート他 1 名	
スケジュール	8:50	開始 ・参加者集合・移動	
	9:45	摂津峡到着 ・活動の諸注意と活動案内、道具の説明	
	10:00	生きもの探し ライフジャケット着用し遊泳	
	10:30	高槻 FC クラブと合流・活動参加	
	11:20	荷物片付け・現地班と解散	
	12:00	JR 高槻駅前北バスロータリーで参加者と解散・終了	
実施場所	高槻摂津峡 摂津峡公園より上流 渓谷		
			

21.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	募集チラシの印刷（高槻出張所、中央域流域センター） 当日配布資料の提供等（高槻出張所、毛馬出張所） 近隣小学校へのチラシ配布依頼（5校） ライフジャケットの提供（高槻出張所、中央域流域センター）
レンジャーの活動内容	・募集チラシの作成・配布 ・流域小学校へ協力依頼 ・事前打ち合わせ ・現地下見 ・当日の運営

21.3 活動状況



活動事前説明（道具の使い方等）



芥川（摂津峡）にいる生き物紹介



生き物探し



ライフジャケット着用説明



指導後自由遊泳



参加者が捕まえた魚を説明（カワヨシノボリ等）

21.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>参加者のアンケートより</p> <p>Q. 参加した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚をつかまえてみたかったから ・川に入れて楽しそうだったから ・魚や生き物が好きだから ・前の川とちがって楽しかった（下流の芥川大橋） <p>Q. 参加した感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフジャケットをはじめてつけた ・小さな魚がたくさんいた ・もっとあそびたかった ・また参加したいです
今後の課題	<p>参加者について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日の設定を検討する必要がある（今年度から高槻市内の小中学校の夏休みが少なくなり、実施日が最終土日の週であったため ・夏休み中のプログラムの広報について再検討したい

○谷岡河川レンジャー（上半期）活動報告

22. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

22.1 活動テーマと活動分野

山崎出張所管内を活動エリアとする谷岡河川レンジャーは以下の活動テーマにもと、3つの活動を実施します。

活動テーマ

人が集う、淀川。（新規レンジャーの発掘、誕生にむけて）

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川の環境保全を図る活動	鶴殿のヨシ原で調査、観察会	自然環境の理解、動植物の保護、希少種への注視活動を通じて、川の自然環境保全の活動に流域住民が関わられる機会を増やし、その意欲を高めることです。 そして住民が参加する川の環境保全活動が、地域に広がることを期待します。
河川の環境保全を図る活動	河川美化 ヨシを刈って集めてヨシ原を育てよう	ヨシ刈り、ヨシの利用を行うことを通じて、「人による川の自然の管理」を行うことです。そして、地域における人と川の関係の再構築を期待します。
川づくり、まちづくりへの参画・支援活動	「ヨシ原保全工事」見学会	鶴殿では、平成 9（1997）年からポンプ、導水路での導水でヨシ原の保全事業が行われた。説明・見学会の実施により事業目的、内容などの周知を行い、河川工事への理解を深めて頂くことを目的とする。 そして、淀川の他の河川環境整備工事への関心が高まることを期待する。

23. 鶺殿のヨシ原で調査、観察会

・平成 24 年 4 月 15 日(日)

23.1 実施状況

活動名	鶺殿のヨシ原で観察会 『世界無形文化遺産・雅楽を支える鶺殿で希少植物を観察』		
担当	山崎出張所管内	谷岡河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 4 月 15 日(日) 9:30～:14:35		
参加人数	参加総数	32 名	
	一般参加者 講師 協力スタッフ 運営事務局	26 名 1 名 4 名 1 名	大人 24 名、子ども 2 名 小山弘道氏 (鶺殿ヨシ原研究所) 鶺殿クラブ・鶺殿ヨシ原研究所
スケジュール	9:30	開始・受付	
	10:00	レンジャーによる観察コースおよび注意事項の説明	
	10:20	ポイント①において淀川を眺望した歴史的背景の説明	
	10:33	ポイント②において鶺殿ヨシ原の説明	
	11:20	ポイント⑥において水路の機能と生物の生息環境の説明	
	11:50	ポイント⑦において希少種トネハナヤスリを観察、住民の手入れ	
	13:00	ポイント⑧においてカナムグラの除去活動	
	14:15	本日の観察会の取りまとめと次回の案内説明	
	14:35	終了	
実施場所	(場所) 淀川右岸、鶺殿のヨシ原		

23.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ○配布資料 ・観察コース地図 (パンフレット 鶺殿で遊ぶ から引用) ・鶺殿で遊ぶ (鶺殿、市民活動パンフレット: 鶺殿ヨシ原研究所作成) ・レンジャーNEWS ・今後の活動案内
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鶺殿ヨシ原研究所: 講師 (準備から下見、実施)、資料提供、広報 ・鶺殿クラブ: 協力スタッフ (準備から下見、実施)、資料提供、備品の貸与、広報 ・淀川河川事務所: 広報、必要物品の貸与、必要資料の提供など

レンジャーの活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施計画の立案 (1)実施日・実施内容の検討 (2)現地下見 (3)準備 2. 参加の案内 (1)チラシの作成、(2)チラシの配布、レンジャーホームページ掲載 過去の参加者や自然環境団体にメールなどで案内。 3. 必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整 4. 関係機関との調整 スタッフ依頼、調整、備品の借用依頼、各種打ち合わせ 5. 活動の実施 開会、進行、観察の指導・解説、参加者との交流、意見・感想のとりまとめ
------------	---

23.3 活動状況



ポイント②保全事業、水路説明



ポイント⑤カナムグラ抜きの様子


23.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・冬のヨシ刈りに参加して、その後の春が気になったので参加した。ヨシ原焼きが（雨で）行われなかったのも、何か変わるのかも知りたかった。この観察会では、ヨシ刈りやヨシ原焼きの効果があり意味が分かった。自然にほっておけば良いのではなかった。 ・4月から5月、鶴殿で行われる観察会が3つほどあり参加している。他の観察会では植物の名前、特徴の説明までだが、今日の観察会はその自然環境やそれをどのように作っているかについての説明もあって興味ぶかい。 ・カナムグラ抜きを初めて行った。ヨシ原なのでヨシばかりかと思ったが、オギが多かったり、つる草が多いことも初めて知った。私が鶴殿の近くに住んで40年近くなるが、知らないことばかり。 ・ここのヨシが雅楽の楽器になることを聞いて驚いた。楽器を見たのも初めてだった。堤防を散歩するので「鶴殿葭原の碑」で休むが説明看板はあまり見ていなかった。今度じっくり見てみたい。鶴殿の自然についての説明看板は無いのでしょうか？
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の年齢層は60歳以上が多いので、他の世代の参加が増えるようプログラムづくり、広報を見直しの必要がある。 ・定例調査で鶴殿を歩いている時に、出会った方々の参加が2グループあった。野草採りやお花見散歩などで来られていた時に、観察会のチラシを渡して参加された。お話してみると、河川公園の利用についての要望や質問などがあつた。関心を持っている方や利用されている方からの意見を伺えるようにプログラム内容に反映しようとする。

24. 鶺鴒のヨシ原で調査、観察会

・平成 24 年 5 月 24 日(木)

24.1 実施状況

活動名	鶺鴒のヨシ原で調査、観察会『鶺鴒ウォーキング 葦原を観察しよう』		
担当	山崎出張所管内	谷岡河川レンジャー	
開催日時	平成 24 年 5 月 24 日(木) 9:30～ 12:00		
参加人数	参加総数	34 名	
	一般参加者	28 名	大人 28 名
	講師	1 名	小山弘道氏 (鶺鴒ヨシ原研究所)
	五領公民館	2 名	加茂氏、金子氏
	協力スタッフ	2 名	中島氏
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:30	開始	
	10:00	講師から鶺鴒の観察について説明 (ヨシの現状・鶺鴒に生息している生物について・雅楽の楽器とヨシの関係について)	
	10:10	レンジャーから活動における注意(熱中症について)	
	10:15	堤防を歩き河川敷に移動、鶺鴒が氾濫原であることを説明 質疑応答、ヨシ原焼きについて	
	12:00	まとめ、解散・終了。	
実施場所	山崎出張所～鶺鴒ヨシ原		
			

24.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> ○配布資料 ・観察コース地図 (パンフレット 鶺鴒で遊ぶ から引用) ・鶺鴒で遊ぶ (パンフレット) (鶺鴒、市民活動：鶺鴒ヨシ原研究所作成) ・熱中症にならないために 注意事項 (レンジャー作成資料) ・今後の活動案内チラシ ・河川レンジャーNews
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鶺鴒ヨシ原研究所：講師 (準備から下見、実施)、資料提供、広報 ・鶺鴒クラブ：協力スタッフ (準備から下見、実施) 資料提供、備品の貸与、広報 ・淀川河川事務所：広報、必要物品の貸与、必要資料の提供など
レンジャーの活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 実施計画の立案 <ol style="list-style-type: none"> 実施日・実施内容の検討 現地下見 準備 参加の案内 <ol style="list-style-type: none"> チラシの作成 チラシの配布、レンジャーホームページ掲載 過去の参加者や自然環境団体にメールなどで案内。 必要物品の準備 <p>関係機関、協力者への依頼・調整</p> 関係機関との調整 <p>スタッフ依頼、調整、備品の借用依頼、各種打ち合わせ</p> 活動の実施 <p>開会、進行、観察の指導・解説、参加者との交流、意見・感想のとりまとめ</p>

24.3 活動状況



講師による鶺殿の植物や概要について説明



レンジャーによる鶺殿と淀川の高低差やポンプ、導水路事業について説明

24.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高槻市広報を見て公民館を通じて申し込んだ。鶺殿の中にポンプなどの施設があることは知らなかった、また国交省が行っていることも知らなかった。もっと市民に知らせてほしい。 ・今日は観察会なので説明があったので分かり易かったが、案内看板などが有れば、観察会が無いときに来て情報を得ることができる。 ・緊急用道路を初めて知った、島本に住んでいるので堤防や公園での工事は知っていたが、道路が新しくなったのはこの目的なのだ。自転車がよく走っているのでサイクリング道路かと思っていた。 ・開会の時に熱中症についての注意があったが、まだ5月なので心配していなかった。持ち物に飲み物とあったが2時間の観察会なので無くても良いと思い持ってこなかった。出張所に戻ってきた時、とても喉が渴いていたので、用意されていた飲み物を飲んだ。思っていたより汗をかいた。気持ち良い汗だ。 ・五領公民館の行事に良く参加していて今日も参加した。飲み物が初めて最後に用意されていた意味は後で分かった。歩いているうちに気温があがり、持ってきた飲み物は途中で無くなったが、出張所に戻ったら飲み物が用意されていたので良かった。熱中症になったらどのようなかについても説明を聞いたが、さっきまで普通に歩いていたのに急にうずくまり動けなくなった例に驚いた。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症の予防と対策が、年々、重要となってくる。今回は事前に公民館と相談し、開会と閉会時に飲み物を用意し、また開会時に熱中症の説明チラシを配布し注意喚起を行った。休憩時には重ねて水分補給を促した。閉会時の飲み物には、参加者がすぐ集まり2杯の方も多かった、必要なものであった。 ・淀川を見ながら、これから増水期間に入るので注意、対策などを説明をすると、参加者から体験や近年の高槻市内での被害の話がいろいろとあった。 講師やレンジャーからの説明だけでなく、参加者の体験や関心から防災の話ができるよう、プログラム構成を工夫する必要がある。 ・公民館との連携活動なので、観察会だけに終わらず継続して、鶺殿や淀川に関心を持ってもらえるよう公民館スタッフと検討した。 レンジャーと住民で定期的に鶺殿を調査・観察している活動があるのでそれを公民館利用者に案内し、また、淀川情報（事務所や公園からのチラシなど）を公民館に置くことなどを引き続き続ける。

25. 鶺鴒のヨシ原で調査、観察会

・平成24年9月29日(土)

25.1 実施状況

活動名	鶺鴒のヨシ原で調査、観察会 『鶺鴒で夕方、鳴く虫を観察しませんか！姿や鳴き声を楽しみましょう』		
担当	山崎出張所管内	谷岡河川レンジャー	
開催日時	平成24年9月29日(土)17:00~20:00		
参加人数	参加総数	11名	
	一般参加者	8名	大人8名
	講師	2名	小山弘道氏(鶺鴒ヨシ原研究所) 青柳正人氏(大阪産業大学)
	運営事務局	1名	
スケジュール	17:00	開始 谷岡レンジャーによる活動趣旨説明・講師紹介(雨天プログラム)	
	17:20	小山先生から鶺鴒のヨシ原の現状・保全の取り組みについてお話 青柳講師の鶺鴒と昆虫について説明	
	18:00	質疑応答	
	18:30	昆虫種名チェック表(配付資料)と鶺鴒に棲む昆虫についての話	
	19:40	講師昆虫観察、レンジャー台風の接近と防災について説明	
	20:00	山崎出張所で終了・解散	
実施場所	淀川河川事務所 山崎出張所 住所:高槻市上牧町4-55-1		

25.2 事前活動

各種資料	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット「価値ある水辺を創る 鶺鴒を遊ぶ」(鶺鴒ヨシ原研究所) 鶺鴒鳴く虫観察会資料 青柳講師作成 【内容】サウンドスケープについて、鶺鴒の代表的な昆虫の種類、日本人と欧米人環境認知の能力の相違 鶺鴒の鳴く虫(表。種名と鳴き声の特徴) 昆虫チェックシート(種名表) 当日の観察ルートマップ(谷岡レンジャー) ご案内、唱歌「虫の声」の歌詞カード(鶺鴒クラブ) レンジャーNews21号
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 鶺鴒ヨシ原研究所:講師(準備から下見、実施)、資料提供、広報、雨プログラムの器材貸出:パソコン、映像の上映機器 鶺鴒クラブ:資料提供(昆虫関係の本、図鑑)、備品の貸与、広報 淀川河川事務所:広報、部屋の使用、必要物品の貸与、必要資料の提供など
レンジャーの活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 実施計画の立案 (1)実施日・実施内容の検討 (2)現地下見 (3)準備 参加の案内 (1)チラシの作成 (2)チラシの配布、レンジャーホームページ掲載 過去の参加者や自然環境団体にメールなどで案内。 必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整 関係機関との調整 講師、スタッフ依頼、調整、備品の借用依頼、各種打ち合わせ 活動の実施 開会、進行、観察の指導・解説、参加者との交流、意見・感想のとりまとめ

25.3 活動状況



講師による昆虫の紹介と鳴き声を映像と音声で説明



レンジャーによる鶉殿の葦と琵琶湖の葦の生育環境の違いについて説明



昆虫チェックシートを参考に昆虫の生育場所や鳴き声を説明、



クツワムシ (クズの葉にとまっている)
鳴声 ガチャガチャ、

25.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雨で室内プログラムだったが、講師の資料が虫の写真、鳴き声の録音などを用意され分かり易かった。鶉殿ヨシ原研究所で観察される虫だけではなく、サウンドスケープ（音風景）や、日本人と欧米人の感じ方の違いなどから説明があり、内容は豊富で良かった。 ・河川レンジャーの活動への参加は初めて、募集も鶉殿ヨシ原研究所のHP で知った。茨木市に住んでいるので淀川は近い。レンジャーのHP も見てみたい。防災などの情報や活動に関心がある。 ・講師の話聞くだけではなく、環境や保全の取り組みについて意見を交換できたのが有意義だった。台風や水災害のことも小山講師やレンジャーの情報をえて理解が深まった。 ・野外での虫の観察を楽しみにしていたので、代替日での実施も検討してほしい。 ・河川事務所の施設に来るのは初めて。河川レンジャーのHP を見て事務所のHP を初めて見た。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日に台風の接近ということもあり、水害、防災の質問や話題が話された。今後は観察会の内容にさらに防災の内容を盛り込むことを行いたい。 ・代替日を設けることも検討したのだが、下見、実施、予備日と3日間となり、講師や協力スタッフとのスケジュール調整が難しい。野外で夜間の実施なのでスタッフは昼間より多い人数が必要なので。 ・雨プログラムなので、参加者の河川への考えや意見を聞く時間があったが、晴天時のプログラムでもそのことができるよう工夫を行いたい。